

NEWS RELEASE

準天頂衛星システムの利用拡大に貢献
「センチメートル級測位補強サービス」においてスイス u-blox 社と連携

三菱電機株式会社は、準天頂衛星システムの利用拡大を推進するために、自動車向け測位用・ワイヤレス通信用半導体分野で世界大手メーカーの u-blox AG（本社：スイス・タルウィル、以下「ユーブロックス社」）と、「センチメートル級測位補強サービス」対応の自動車向け受信チップの開発で連携することに合意しましたのでお知らせします。

連携の背景

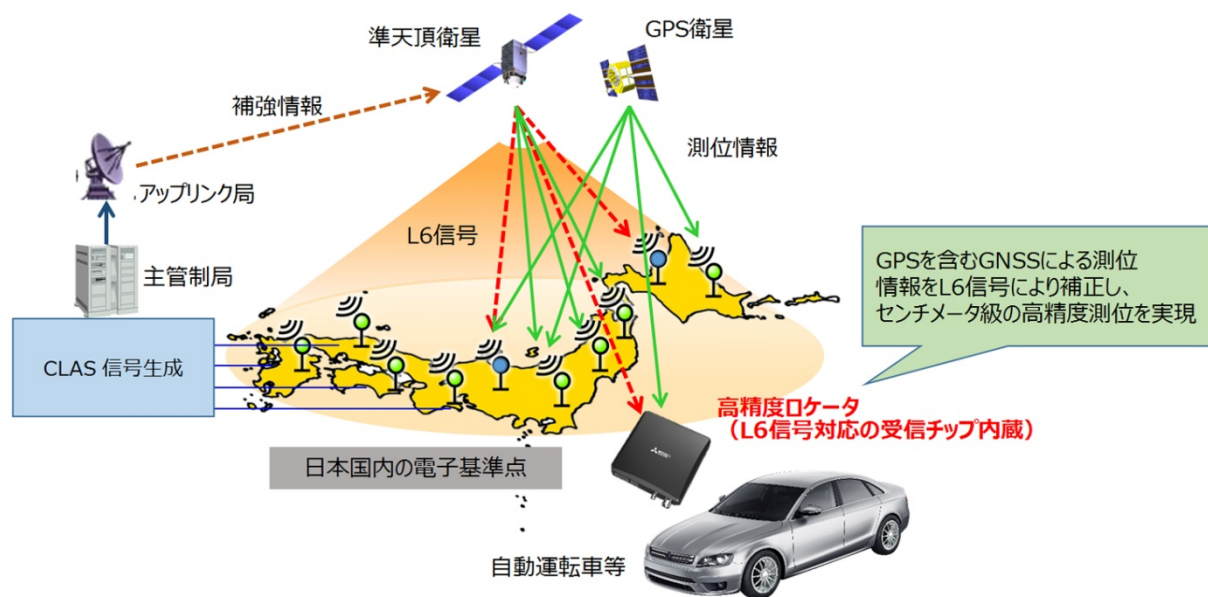
内閣府宇宙開発戦略推進事務局が現在整備を進めている準天頂衛星システムの提供サービスの一環として、センチメートル級の高精度測位を可能とする「センチメートル級測位補強サービス（以下 CLAS^{※1}）」の開始が 2018 年度から予定されており、自動車の安全運転支援や自動運転をはじめとするさまざまな分野での利用が期待されています。

CLAS は、準天頂衛星から配信される測位補強データ（L6 信号^{※2}）を受信することで利用できます。当社はユーブロックス社の L6 信号対応の自動車向け受信チップ開発に技術支援を行っていきます。

※1 Centimeter Level Augmentation Service

※2 準天頂衛星から送信される 6 つの信号の 1 つで、中心周波数は 1278.75MHz

センチメートル級測位補強サービス（CLAS）概要



GNSS : Global Navigation Satellite System (全地球航法衛星システム)

連携の内容と今後の展開

CLAS を開発した当社が保有する高度な衛星測位技術と、ユーブロックス社の保有する自動車分野における豊富なチップ開発のノウハウを生かして、ユーブロックス社が L6 信号対応の自動車向け受信チップを開発する計画です。

当社は、L6 信号対応の受信チップを高精度ロケータ^{※3}などに適用して、自動車の安全運転支援や高精度な自動運転など自動車分野へ展開するとともに、引き続き、さまざまな分野における準天頂衛星システムの利用拡大に貢献していきます。

※3 自動車の自車位置を高精度に推測する車載ユニット